

本ガイドラインは、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に示された感染拡大防止ガイドライン作成の要請に基づき、弊社の学力テスト実施における新型コロナウイルス感染予防対策として実施すべき基本事項を示したものです。ご受験の際には、予めご理解・ご了承いただきますようお願い申し上げます。

【試験実施における会場での感染防止策】

1. 試験会場入口付近や試験教室などに消毒液を設置し、来場時に検温を実施する。
2. 受験生同士の座席間の距離は1メートル程度の間隔を確保する。
3. 受験生の来場前と退場後は、机・椅子や共用部分(ドアノブ、階段の手すりなど)は、消毒液を行う。
4. 休憩時間などはドアや窓を適度に開放し、換気を実施する。ただし、英語リスニング放送中は、ドアや窓は開放しない。(換気の場合、外部の騒音や換気扇などが稼働する音が発生することが予想されます。また、試験会場によっては、室温がかなり変化する場合がありますので、上着などで調整をお願いします。)
5. 試験スタッフは、試験日の前日から14日間程度は体温の測定を行い、体調の管理に努める。
6. 試験スタッフは、常時マスクを着用し、こまめな手洗いや手指の消毒を行う。
7. 試験スタッフは、発熱や咳などの症状がある場合は、業務に携わらない。
8. 試験スタッフは、密を避けるための距離を確保し、口頭での説明案内や会話を最小限にとどめる。

【受験者の皆さまへのお願い】

1. 新型コロナウイルス感染症に罹患、または感染の疑いがあるなど、以下の場合には受験をご遠慮ください。また、試験日の1週間前までにご連絡をいただいた場合は「自宅受験」に変更させていただきます。
 - (1) 新型コロナウイルス感染症陽性と診断され、外出制限の指示を受けている場合。
 - (2) 試験日の前日から14日以内に新型コロナウイルス感染症が拡大している国や地域への渡航歴がある場合や、保健所から濃厚接触者と認定された場合。
 - (3) 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合。
2. 次の場合は、試験会場への入場をお断りさせていただきます。
 - (1) 試験会場来場の検温時に、37.5度以上の発熱がある場合。
 - (2) 発熱や咳などの症状の有無にかかわらず、マスク着用をしていない場合。
3. 昼食は、受験票で指定された自席で、前を向いて会話をしないで食事をする。食前には、手洗いや手指の消毒を行う。食事中以外はマスクを着用する。食事中は黙食を心掛ける。食後も自席で待機し他の受験生との接触や会話は極力控える。
4. トイレは、混雑を避け余裕をもって済ませる。また、トイレのふたを閉めて洗浄する。
5. 試験教室の出入りの際は、消毒液で手指消毒を行う。
6. 試験終了後は、密集する状況を避けて、速やかに退場する。
7. 感染予防対策として、各自食べ物のゴミなどは自宅まで持ち帰ること。
8. 試験会場によっては施設使用の感染症対策として、受験生のリストの提出が必要となる場合がありますので、ご了承ください。
9. 試験会場で新型コロナウイルスの感染者または感染の疑いがある方が出た場合には、濃厚接触者の特定など、保健所などの行政機関が行う必要な調査への協力を行うため、試験会場ごとの受験者リストを提供する場合があります。
10. 試験日の後14日以内に、新型コロナウイルス感染症陽性および濃厚接触者と判明した場合は、岐阜新聞情報センターまでご連絡ください。
11. 「健康チェックカード」(中学校などで使用しているもの)で、試験日の前日から14日間程度、自己点検を行ってください。
12. マスクの着用、手洗い、手指消毒、咳エチケットの徹底、人との距離の確保、さらに三つの密(密閉・密集・密接)だけでなく、一密でも回避する行動などを行い、十分な体調管理を心掛けてください。